

行政による再編 民間による支援を受けて 強化された集落の自治機能

作木町自治連合会／広島県三次市

取組概要

旧作木村では平成8年から9年にかけて、公民館分館を単位として12の「行政区」を設置、集落自体を統合・再編するのではなく、地域資源管理機能・生活保護機能等は集落が担い、活性化にむけた地域づくりは行政区が担うなどの役割分担を図り、区内の女性会、消防団等の既存の団体を行政区単位で再構成するなど、機能に特化した再編を行った。

その後、平成16年の三次市との合併を機に、行政区を束ねる「連絡協議会」、それらを束ねる「自治連合会」を組織、住民自治の推進による地域の活性化を図っている。

その後、行政区は廃止されたものの、自治連合会による集落機能の補完や、地域振興にむけた取組は継続されており、今後もさらなる自治・地域振興の推進を図っていくとしている。



取組と成果

取組

- ・84の常会を12の行政区へ再編
- ・「川の駅」やカヌー公園の整備、手づくり料理の提供等、「川文化」を軸とした行政区ごとの地域振興にむけた取組

成果

- ・取りやめていた伝統行事が復活
- ・行政区ごとの地域の特徴を活かした活動により村への来村数が増加[2,000人(平成9年)→7.8万人(平成15年)]

山村振興のキーポイント

「地域振興や住民自治への意識・活動意欲をもてる組織構成を考える」

…アイデアを行動に移せる程度に大きく、住民が他力本願にならない程度に小さい組織(行政区)づくり

関連する組織

- ・株式会社わかたの村
- ・三次市役所

縮小・廃止が進む 公共サービスを代行提供 NPOが中心の「もう一つの役場」

NPO法人ひろしまね／島根県邑南町

取組概要

少子高齢化や過疎化の進行による自治体の財政難に伴い、休止・廃止に追い込まれた公共サービスを地縁組織が代行することや、葬儀や草刈り、山の手入れ等の作業を集落に住む少人数の働き手で分担することが難しくなっている。

そのような状況の邑南町で、NPO法人ひろしまねが中心となり地域住民や自治体、大学等が協働して、小学校区単位で拠点となる集落支援センターを設置、地域マネジャーが自治組織と連携しながら、通院や買物の送迎、雪かき、草刈り、集落の共同作業の代行等の生活支援サービスを有償で提供する「もう一つの役場」構想の実現にむけての実証実験に取り組んでいる。



取組と成果

取組

- ・行政、大学等と協働した地域づくり対策
- ・集落支援センターの設置

成果

- ・島根県と国土交通省からの業務の委託等によって社会実験等の取組が行えるようになった
- ・自治体やNPO、大学等の多様な主体の参画体制が整った

山村振興のキーポイント

「基本は悉皆調査。代表による協議会では見えてこないことも多い」

…手分けをして全世帯を訪問、日常生活の問題点の聞き取り調査を実施

「しっかりと資金計画が必要」

…持続可能な、活動資金が得られる体制

関連する組織

- ・NPO法人地域づくりハウス
- ・ニッセイ財団
- ・国土交通省
- ・農林水産省
- ・島根県庁
- ・邑南町役場
- 他

10-6 新しいコミュニティ形成による集落運営

自らの地は自らの手で
住民自治組織による住みよい
集落環境づくり

旧美山町協議会／京都府南丹市

取組概要

平成13年に、昭和の大合併前の旧村単位ごとに「自治会」、「村おこし推進委員会」、「地区公民館」の3つの在来組織を統合して、住民を中心に地域に必要な取組を検討・企画する地域振興会が設立された。

新設の地域振興会は行政窓口サービス機能を有し、多様な主体との連携を図りながら、経済活動には関わらない見守り・防災等の取組や、地域資源の保全・活用活動を主に展開している。

また、振興会が既存の組織と協力、又は新しい組織を立ち上げるなどして、住民の主体的・継続的活動による村おこし活動などが実施されている。



取組と成果

取組

- ・見守り・防災等の保安活動や、伝統的茅葺き民家集落、自然林等の地域資源の保全・活用活動

成果

- ・人材センターによる労働力の確保等、各振興会ごとの取組により、安心した生活の維持や景観の保全がなされている

山村振興のキーポイント

「考えたことを現実にできる、実行力のある体制づくり」
…町内のあらゆる主体と協力、多様な主体と連携を図ることで企画の実現を可能にする

関連する組織

- ・有限会社かやぶきの里
- ・かやぶきの里保存会
- ・美山と交流する会

10-7 新しいコミュニティ形成による集落運営

感動の共有が集落の底力
行政に頼り過ぎない
地域づくり

柳谷（やねだん）／鹿児島県鹿屋市

取組概要

平成8年当時、人口約300人で高齢化率34%の集落であった鹿屋市串良町柳谷地区では、自治公民館長の強力なリーダーシップのもと、行政に頼らない、住民協働による村づくりが行われてきた。

平成10年4月、集落の活動拠点となる約20aの公園「わくわく運動遊園」を、すべて集落民が資材と労力を持ち寄って完成させ、強い結束力が生まれた。その後、休耕地を開墾してのカライモ栽培、焼酎製造、土着菌を活用した家畜の糞尿の悪臭防止の取組、高齢者の自宅への緊急警報装置の設置などが実現。また、空き家を住居・ギャラリー・宿泊施設として利用してもらう「迎賓館」も次々に完成している。

さらに平成19年から、地域外の人と連携して、全国にリーダーを養成するための「故郷創生塾」も始まった。



取組と成果

取組

- ・遊休地を使ったカライモの生産や土着菌を使った畜産糞尿の悪臭防止
- ・空き家の利活用や「故郷創生塾」開催等を通じた地域外との交流

成果

- ・土着菌センターが完成。平成18年には発酵熱を利用した足湯施設「足湯」も完成
- ・「迎賓館」は平成20年度現在で7つ完成

山村振興のキーポイント

「『村』に活力を与えるのはお金ではなく人。人を動かすには“感動”しかない」

…財源は人。できる人、好きな人だけでやってはだめ。あつちを向いている1%の人を感動で振り向かせること

関連する組織

—

11 -2 生活サービス機能の低下への対応

住民の不安は住民の手で解消 自治会が運営する日用品店 兼簡易郵便局

コミュニティうきさとみんなの店／三重県松坂市

取組概要

人口わずか100人足らず、そのうち約7割が高齢者の過疎化と高齢化が深刻化した松坂市柚原町。平成19年春に町内で唯一の日用品を扱っていたJA松坂宇気郷出張所が撤退、JAの隣にあった簡易郵便局も廃局となり、車に乗れない高齢者を中心に生活への不安を感じるようになった。

住民の不安を解消し、生活利便性を確保するため、町の自治会が中心になって協議を重ね、同年7月自治会自ら日用品・食料品・農業用品を扱う店舗「コミュニティうきさとみんなの店」の運営を開始した。また、店舗と並行して簡易郵便局事業を展開、郵便・貯金事業を行っている。



取組と成果

取組

- 自治会が中心となって、住民全世帯からも店舗開設にかかる資金を調達
[自治会100万円・住民1世帯1万円]
- 自治会による日用品販売・簡易郵便局事業

成果

- 車に乗れない高齢者も、従来と同じように町内で生活必需品を買うことができる
- 店舗内で会話が生まれるなど、地域の憩いの場としても機能している

山村振興のキーポイント

「頼るだけでは取り残される。自分たちの生活は自分たちで守る意識が必要」

…自治会・住民全世帯による出資

関連する組織

・柚原町自治会

11 -3 生活サービス機能の低下への対応

舞台を移動販売車に変えての 心の通った昔ながらの 店舗販売

有限会社安達商事／鳥取県江府町他

取組概要

鳥取県日野郡の山間部では過疎化、高齢化のため地元商店が撤退していた。食品購入の危機に見舞われた地域を救うため、日野郡内各地に商店を構える(有)安達商事では、江府町などの中山間地域に移動販売車「ひまわり号」を運行している。大容量の冷凍冷蔵庫を装備、拠点店舗で調理した物を途中で補充するなどして、常に新鮮な生鮮食品をお年寄りに届けている。平成20年にはコンビニチェーン大手のローソンと契約して弁当やサンドイッチ等の販売を開始、購買層を若年にも拡大した。また、町と中山間集落見守り協定を結ぶなど、地域住民のことを考えた店舗づくりを進めている。



取組と成果

取組

- 大手コンビニチェーンとの提携による少量多品目商品の提供
- 拠点店舗との協力による生鮮食品の取扱い

成果

- 交通手段のないお年寄りでも新鮮な食品が購入可能に
- 移動販売が地域の独居高齢者などの見守り役を果たしている
- 若年層の購買が拡大し、憩いの場として利用されている

山村振興のキーポイント

「移動販売車はお年寄りの楽しみのある場である」

…店舗販売並みのサービスを移動販売車で(生鮮食品の充実)

「フェースtoフェースで心の通う商売を」

…商品の販売に留まらない心のこもったサービス

関連する組織

・日野町／江府町／伯耆町役場
・鳥取県民局日野総合事務所
・JA鳥取西部
・江府町商工会

12-2 公共交通システムの確保

町民の足として 定着しつつある デマンド交通システム

飯豊町社会福祉協議会／山形県飯豊町

取組概要

町営バスの利用者減少による交通体系の見直しや交通空白地帯への対応のため、飯豊町が町営バスに代わる公共交通機関として、平成17年にデマンド交通システム(予約型乗合タクシー)「ほほえみカー」を整備、運行を開始した。

「ほほえみカー」は町の社会福祉協議会が主体となり、住民のニーズをくみ取って町の中心部や病院等を通る3路線を整備、予約や配車の手配を担当するオペレータを直接雇用、車両運行を地元タクシー会社に委託する形で運行されている。



取組と成果

取組

- ・デマンド交通システム「ほほえみカー」の運行

成果

- ・町民の足として定着しており、平成20年度には延べ利用者数が5万人を超えた

山村振興のキーポイント

「住民に利用される、対象地域に見合った交通システムの構築を」

…住民のニーズをくみ取り、サービスの改善を行っている

「利益を追求せずに、住民の暮らしを支えるサービスに専念する」

…町の補助金を利用して、利用者の負担を抑えている

関連する組織

- ・ほほえみカー運行委員会
- ・NPO法人はっと
- ・株式会社めざみ交通
- ・飯豊町商工会
- ・飯豊町役場

12-3 公共交通システムの確保

路線バスに代わる足を コストとメリットを重視した 交通機関の検討

雲南市役所／島根県雲南市

取組概要

地域内の公共交通機関が廃止され、車を持たない高齢者など交通弱者のための交通機関の整備が求められていた旧掛合町では、従来の路線バスにかわる新たな町民生活バスの導入について検討を進めていた。

当時は全国的に利用者の要望に応じて運行するデマンドバスが注目されていたこともきっかけとなり、デマンドバスを一步進化させたドア・トゥー・ドアを送迎の基本とする乗合タクシー制度を参考に、町の新交通体系の検討を行った。

検討の結果を受け、町は平成14年にデマンド型乗合いタクシー「だんだんタクシー」の運行を開始、事業は民間タクシー業者に委託する形で実施され、行政コストの削減にも寄与している。



取組と成果

取組

- ・だんだんタクシーの運行
町内を南北の2つのエリアに分け、ジャンボタクシー(ワゴン車)を各1台配車
運行：11便/日(※別途、直行便あり)
乗車料金：通常300円、直行便200円

成果

- ・高齢者の交通が確保され、地元医療機関や商店等への外出が容易になった
- ・買い物客が増加するなど、地域の活性化につながっている

山村振興のキーポイント

「利用者のニーズに適したシステム、サービス内容が必要不可欠」

…意向調査と社会実験の実施によるドア・トゥー・ドア方式のデマンド交通システムや、料金設定の検証、ニーズに対応した運行方式の随時見直し

関連する組織

- ・掛合タクシー

保健・医療・福祉・教育・文化等の機能が集約されたまちづくりの拠点運営

NPO法人きらめき広場／岡山県新見市

取組概要

住民アンケートの結果をもとに、「保健医療を中心としたまちづくり」(理念)を策定、平成13年に、旧哲西町が内科・歯科診療所、保健福祉センター、生涯学習センター、文化ホール、町役場等が集約された複合施設を道の駅の隣に建設。多くの機能が備わっていることにより、様々な住民活動の拠点として利用され賑わいが創出されるなど、地域住民の心と体の健康を支え、地域の活力を維持している。

また、保健福祉センターや医療機関が集約された施設を活かし、病気の早期発見・治療・治癒後の通常生活復帰の各ステージを連携してサポートするシステムの構築等、ソフト事業による住民の健康づくりが行われている。

平成17年の新見市との新設合併を機にNPO法人きらめき広場が設立され、運営を引き継いでいる。



取組と成果

取組

- ・複合施設きらめき広場・哲西の運営
- ・地域ケア会議や子どもの健康づくり事業等のソフト事業の展開

成果

- ・ワンストップサービスの実現により、住民の交流が促進され、地域が活性化
- ・住民の健康づくりに対する意識が向上した

山村振興のキーポイント

「住民の意思に基づいた施設設計」

…全世帯対象の住民アンケート及び住民を加えた60数回に及ぶ設計協議を重ね、住民の望みである「保健医療の充実」を実現するための施設を設計

関連する組織

- ・旧哲西町役場
- ・新見市哲西支局

病院と行政が一体となった保健・医療・介護・福祉の地域包括ケアシステム

尾道市公立みつぎ総合病院／広島県尾道市

取組概要

尾道市公立みつぎ総合病院では、地域の医療機関や施設等と緊密な連携を図り、患者や地域住民のニーズに応える「地域包括ケアシステム」を構築している。同病院は昭和40年代から寝たきり者を減らすために在宅ケア活動を開始。昭和59年の旧御調町の機構改革を契機に、病院、保健福祉総合施設、行政部門である保健福祉センターの3つの併設、相互に連携した運営が実現した。

中核病院が地域のかかりつけ医・ケアマネージャーと連携し、在宅サービスを利用することにより、急性期から回復期、維持期(在宅・施設・住宅改修)までを視野に入れた、地域完結型のシームレスなサービス提供を目指している。



取組と成果

取組

- ・「寝たきりゼロ作戦」：昭和49年から病院の訪問看護、56年から訪問リハビリを開始
- ・在宅ケア連絡会議：病院・施設スタッフと地域スタッフとの綿密なサービス調整

成果

- ・寝たきり者(重度要介護者)の数が、地域包括ケアの実施で10年で約1/3に減少
- ・御調町の老人医療費の伸び率が緩和。昭和60年に県の平均値を下回った

山村振興のキーポイント

「病気だけでなく「人」をみる保健・医療・介護・福祉」

…利用者(住民)主体の視点を持つことが求められる

関連する組織

- ・保健福祉センター
- ・社会福祉協議会
- ・広島県東部厚生環境事務所
- ・住民組織

14-2 高齢者の生きがい、健康づくり

元気な高齢者が資本
生涯現役主義を貫く
小川の庄のおやきづくり

株式会社小川の庄／長野県小川村

取組概要

昭和30年代頃、農山村の将来や地域復興の夢について熱く議論を交わしていた当時の青年たちが、付加価値の高い特産品を生産する農産加工会社の設立を目的として、一度村から出て各々の企業で技術とノウハウを吸収、昭和61年に再結集し、「(株)小川の庄」を設立、漬物や郷土食のおやきの製造・販売を始めた。「60歳入社、定年なし」を設立当初からの企業理念に掲げた同社では、高齢者に配慮して通いやすい職場づくりを進め、事業規模が拡大した現在でも、社員の約半数を占める60歳以上的高齢者が元気に働いている。

また、設立の3年目より11年間、ロサンゼルスで開催されるジャパンエキスポに出展、地域からめったに出たことのない高齢者達が渡米を果たした。



取組と成果

取組

- ・「(株)小川の庄」設立
- ・高齢者を中心として郷土食のおやきを販売

成果

- ・村に雇用が生まれ、高齢者が活性化
- ・厚生労働大臣表彰、特別賞受賞

山村振興のキーポイント

「歩いて畑に通うような感覚で通える拠点づくりで、高齢者が働きやすい職場づくりを」

…高齢者が無理せず通えるよう、空き家等を改修して、村の中に複数の工房を設けた

「地域ぐるみで働きやすい環境をつくる」

…村による道路の拡張や駐車場の整備、農協による原材料の調達や保管庫の整備等

関連する組織

- ・JAながの
- ・小川村役場

14-3 高齢者の生きがい、健康づくり

健康な土づくりで健康なまちづくり、ミネラル野菜で元気な高齢者の増加を目指す

西会津町役場／福島県西会津町

取組概要

「百歳への挑戦」をキャッチフレーズにトータルケアのまちづくりを進めてきた西会津町が、平成9年の「むらづくり全国サミット」での農業科学研究所所長、中嶋常允氏の講演を契機に、健康な土づくり・作物づくりを農業生産の基本として再認識、平成10年より町の食生活改善委員会を中心に地区の女性たちが協力して、中嶋氏の指導のもと、土壌改良等により健康な土づくりを行った土でミネラルを豊富に含んだ野菜の栽培を行っている。

ミネラル野菜の栽培により住民の食生活が改善されたことで、平均寿命が延びた。また野菜づくりが軌道に乗るにつれ、高齢者の生きがいづくりにも効果が発揮され、「にしあいづ健康ミネラル野菜普及会」が60歳以上の女性を中心に結成されるなど、元気な高齢者が増加している。



取組と成果

取組

- ・土壌の分析を経て、不足ミネラルを投入しての土壌改良による健康な土づくり
- ・ミネラル分の追肥等の栽培管理を行っての健康な野菜づくり

成果

- ・平均寿命が県内最下位だった昭和60年代からの15年間で男女共に4歳以上延び、県平均と同等になった
- ・元気な高齢者の増加により、医療費の削減等に効果が出てきている

山村振興のキーポイント

「専門家の指導によって住民意識を醸成」

…農業科学における専門家である中嶋氏の講演によって、地区の女性のやる気を啓発した。さらに確かな指導のもと行われる農業が高齢者の健康づくりや生きがいづくりに寄与している

関連する組織

- ・農業科学研究所
- ・にしあいづ健康ミネラル野菜普及会